

2026年6月25日

第26015号

オリンピック内間康平氏が「JTAサイクリングアンバサダー」に就任！

～スポンサー契約を締結し、沖縄のサイクルツーリズムの魅力を国内外へ発信～

日本トランスオーシャン航空株式会社(JTA、本社:沖縄県那覇市、代表取締役社長:堀尾 裕子)は、オリンピックでありプロロードレーサーとして活躍した内間康平氏との間でスポンサー契約を締結し、内間氏が新たに「JTAサイクリングアンバサダー」に就任することを決定しました。



(写真左から内間康平氏、弊社代表取締役社長 堀尾裕子)

JTAでは、「サイクリストにやさしいCYCLE SPORTS ISLAND」を目指し、沖縄県内へのバイクラック寄贈や自転車ロードレース大会「ツール・ド・おきなわ」への協賛を通じて、サイクルツーリズムの需要創出に積極的に関与してまいりました。このたび、地元沖縄を拠点にサイクリングの魅力を広める活動を続けている内間氏の想いと合致し、本契約の締結に至りました。

内間氏には、国内外における沖縄のサイクルツーリズムの魅力発信や、JTAの各種プロモーションへの協力を通じて、沖縄の観光振興に広く貢献していただきます。

内間 康平(うちま こうへい)氏 プロフィール



経歴・実績:沖縄県出身。北中城高校、鹿屋体育大学を経てプロの世界へ進み、ヨーロッパを拠点に活躍。2015年「ツアー・オブ・タイランド」優勝、2016年「リオデジャネイロオリンピック」出場。2020年に現役を引退。

現在の活動:現在は地元の沖縄を拠点にサイクリングガイドとして活動。沖縄本島一周サイクリング「オキイチ」のツアーガイドを務めるほか、宮古島トライアスロン大会のバイクチームコーチや久米島観光大使への就任など、多方面で沖縄のサイクルツーリズム発展に尽力している。

機内誌「Coralway」での特集および電子書籍版のご案内

JTA機内誌Coralway7-8月号(7月1日発刊)の「JTAが応援」コーナーにて、内間康平氏の記事を掲載いたします。少年時代の自転車との出会いから、オリンピックとしての足跡、そして引退後にサイクリングガイドとして再発見した沖縄の新たな魅力への想いなどが紹介されています。

- **電子書籍版について:**

『Coralway』は電子書籍版もご用意しております。Amazon(KindleStore)、楽天Kobo、Fujiisan.co.jpなどのサイトにて、「コーラルウェイ」または「Coralway」と検索してお求めいただけます。

以上